

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公表番号】特表2013-526582(P2013-526582A)

【公表日】平成25年6月24日(2013.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-033

【出願番号】特願2013-511383(P2013-511383)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月6日(2014.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒト被験者における癌を治療するための複数のホスト細胞を含むワクチンにおいて、前記ホスト細胞の各々が、(1)少なくとも1つの腫瘍抗原と、(2)前記ホスト細胞から分泌されるように改変された熱ショック蛋白質を共発現することを特徴とするワクチン。

【請求項2】

請求項1に記載のワクチンにおいて、前記被験者の生存時間が、同一のタイプ及びステージの癌を有する他の被験者についての予測される生存時間を超えて長いことを特徴とするワクチン。

【請求項3】

請求項1に記載のワクチンにおいて、前記ホスト細胞が：

(1)癌細胞；

(2)肺癌細胞；

(3)非小細胞肺癌細胞；

(4)前記被験者に対して同種異系；および/または

(5)放射線照射したもの；

であることを特徴とするワクチン。

【請求項4】

請求項1に記載のワクチンにおいて、前記ホスト細胞が癌細胞由来ではなく、前記少なくとも1つの腫瘍抗原を発現するように改変されていることを特徴とするワクチン。

【請求項5】

請求項1に記載のワクチンにおいて、前記ヒト被験者における前記癌が肺癌であることを特徴とするワクチン。

【請求項6】

請求項4に記載のワクチンにおいて、前記肺癌が、非小細胞肺癌であることを特徴とするワクチン。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のワクチンにおいて、前記少なくとも 1 つの腫瘍抗原が、アルファ - フエトプロテイン (A F P) 、ベータ 2 ミクログロブリン (B 2 M) 、ベータ - ヒト絨毛性ゴナドトロピン (ベータ - H C G) 、B a r d 膀胱腫瘍抗原 (B T A) 、癌抗原 2 7 . 2 9 (C A 2 7 . 2 9) 、C A 1 2 5 、C A 7 2 . 4 、C A 1 9 - 9 、癌胎児性抗原 (C E A) 、クロモグラニン A 、H E R 2 、前立腺特異抗原 (P S A) 、上皮成長因子受容体 (E G F R) およびホルモン受容体からなる群から選択されることを特徴とするワクチン。

【請求項 8】

請求項 1 に記載のワクチンにおいて、当該ワクチンが前記被験者において、腫瘍抗原特異的な C D 8 + T 細胞反応を引き起こすことを特徴とするワクチン。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のワクチンにおいて、前記分泌されるように改変された熱ショック蛋白質が改変ヒト g p 9 6 であることを特徴とするワクチン。